



神奈川県環境学習リーダー会 会報

No. 39

2004年
6月7日

役員会報告 (事務局長 山田あや子)

6月役員会 (6月14日)

- 6月13日に開催した環境展：
 - 開催者側の反省点の話し合い
 - 来場者数 225名 (昨年は174名)
 - 来年の開催日 6月4日 (土) に決定
 - 総会における質疑に対する確認：
 - 特別会計の決算は17年度より実施
 - 公益法人の会計・納税義務の研究は情勢監視
 - 役員会報告方法は、従来通り、会報で報告
 - 環境実践者養成講座への講師派遣要請が KERC からあり、下記を決定：
 - 環境学習・活動実践者講義を清水幸夫氏に依頼
 - ワークショップを当会が受託し、講義を近藤代表が担当、ファシリテーター6名を後日決定
 - 当会のパンフレット改訂を広報部に一任
- 7月役員会 (7月12日)
- 実践者養成講座：
 - 講師を清水幸夫氏が快諾し、同氏に決定
 - ワークショップのファシリテーターに大森・香川・北村・黒澤・柳川・山田の6名を決定
 - 昨年の反省に基づき、ワークショップのテキスト作成と事前勉強会実施を決定
 - 意見交換会、自然観察会及び施設見学会：

- 地域活動サポート部・自然環境部会の共同企画を検討
- 開催日を16年11月5・6日 (金・土) に決定
- 会報39号での開催予告と40号での参加者募集を決定
- 環境活動用の貸し出しパネル：
 - 作成を決定
 - 内容を事務局が決める
- 9月1日開始の環境カウンセラー募集に対して、昨年同様、当会によるガイダンス開催を決定 (担当：近藤、黒澤他)
開催日時：8月19日 (木) 13:30～
開催場所：平塚市民活動センター (予定)
- 「横浜カーフリーデー」の呼びかけ人会から当会に名称使用の許可要請があり、使用承諾を決定
- 総会で承認された細則「受託事業の申し合わせ」の早期明文化を本木監事が指示
- 報告事項：
 - 子ども環境体験教室の「ソーラークッカーを作ろう」「ケナフ染めに挑戦しよう」の2教室は応募多数のため、2回ずつの開催になったとの報告
 - 地域活動サポート部アンケート回答者は30名との報告

環境科学センター (KERC) 訪問

事務局長 山田 あや子

6月18日10時から約1時間半ほど、新年度役員挨拶を兼ね KERC 所長他幹部、担当者を訪問し懇談しました。

先方出席者は、武所長、塩沢副所長、野崎様、生駒様、当方は、近藤、北村、安丸、大森、山田 (パート) でした。

まず KERC に対し先日の「親と子の環境展」への協力、参観への感謝に始まり、その後双方から忌憚のない意見交換が行われました。

その中には、環境での話題性の多い取組み (ケナフ、PM、河川問題等) の良い面、留意点や、NOx・SOx 問題、県の環境への取組み、K・リーダー会

の今後のあり方、KERC の進むべき方向および K・リーダー会を含む市民活動グループへの要望 (大いに KERC を活用し、要望等寄せてほしい) 等多岐にわたり非常に有意義な時間を過ごしました。

終了後、KERC 玄関前で武所長を含め参加者全員で記念写真を撮りました。



～ 地球の未来のために ～

第3回親子で楽しむ環境展報告

環境展実行委員長 北村 博子

第3回親子で楽しむ環境展は、去る6月13日、平成16年度「かながわアジェンダ普及啓発推進事業」として、かながわ県民センター1階展示場で開催・実施されました。

今回の環境展は、今までより一層充実した展示内容で、横浜市を始め神奈川県各地から来場いただいた方々から、賞賛と励ましの感想が多数寄せられました。朝早くから時間との闘いで、夫々の企画通りに展示作業を進められた、各グループ担当の方々に改めて感謝をしております。

今回は、かながわアジェンダ推進事業として実施されたため、神奈川県環境計画課からアジェンダ推進班船本氏の展示作業にご協力を戴くことができたのを始め、計画課黒黒課長、県環境科学センター武所長、塩沢副所長、かながわアジェンダ推進センター鍋木代表等の皆様のご来場を頂き、環境展を爽やかな和やかなものに出来ました。

只、例年のことながら、K・リーダー会会員来場者が10人を超えることはなかったのが、この会員の帰属意識の低いことを改めて垣間見る思いで、返す返すも残念なことです。環境展実行担当者としては、外部から寄せられた感謝と激励の言葉の数々とは裏腹に、いつものことながらやりきれなさに疲労感が倍増させられる思いです。

しかし、この環境展の展示内容を高く評価された県環境計画課アジェンダ推進班班長船本氏からは、県内のイベント等で展示したいとのお申し出を戴き、早速「エネルギー部会、Kリーダー・エネルギー会」のパネル6枚が、県「夏の体感イベント」で展示されることになりました。

又、展示ポスターをK・リーダー会で共有しデータベース化、会員や一般に貸し出す案が検討されていることは、今回の環境展の成果を会員に広報できる良い機会を得ることになり、無関心会員層の関心・興味を喚起するきっかけづくりに役立つことであろうと期待をしています。

来場者の感想

< 10歳以下：記入11名 >

・楽しかったです。また来たいです

・不思議なおもしろい展示会でした。

< 10代：記入15名 >

・簡単なことでも、先ず自分でやれることからやるのが地球の環境の改善につながると強く思いました。

・ゴミ袋1枚の受け取りも今後はしっかりとつけていこうと思ひ、自分たちや、これから生まれてくる次世代によりよい地球を残すよう、これから考え、行動していかなければいけない。

・普段あまり考えにくい問題を、改めて見つめなおせてよかった。これからも頑張ってください。

・環境が今、どんなに大変なことになっているのか分かりました。これからはもっと気を付けていきたいです。

< 20代：記入5名 >

・準備された方々の熱意が伝わってきました。ほんの少しの心がけを今日からしていきたいと思ひます。

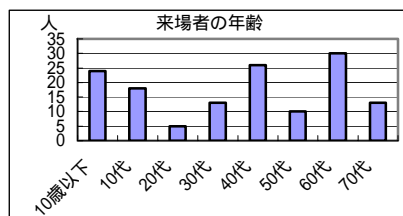
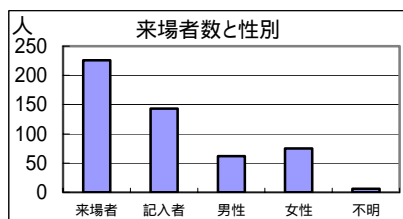
< 30代：記入9名 >

・親子で楽しめる内容だったと思ひます。子ども学校でもこういう問題を取り上げたカリキュラムを組んでもらうと、もっと子どもたちが興味を持って考えていくと思ひます。

・環境問題はとても大切な課題だと思ひます。できることから少しずつ、活動しなくてはならないことだと思ひています。今までの当たり前前の生活の仕方だと本当に環境が悪くなる一方だと思ひます。

< 40代：記入9名 >

・大変充実した、また、工夫された展示内容と体験内容でした。説明される方の知識も豊富で、分かりやすいものでした。県内各地で、数多く開催さ



れると良いと思います。1日だけでなく、何日間か開催されても良いと思います。多くの人に来ていただける工夫を整えることが大切と思いました。

<50代：2名>

・環境問題に関心があるがどうしたら良いか。こういう事情をもう少しPRして欲しい。

<60代：記入18名>

・個人の力で日本を、地球を動かしていかないといけないと思った。私だけやっただけムダと思わない気持ちが大切。

・大変内容のある展示会でした。横浜だけでなく、県内各地に巡回展示していただきたい。地域の活



性化に大変役立つと思います。

・もう少しPRが必要。映画会・講演会を併せ行なっている??

<70代以上：記入6名>

・きめ細かく種々取り組んでいる会員の皆様に驚いたり感心したりです。意に添って生活したいと思いました。

意見交換会、自然観察会および施設見学会の開催

地域活動サポート部長 香川 興勝

本年度は、自然環境部会からの報告にもありますように、意見交換会・自然観察会・施設見学会を自然環境部会と地域活動サポート部との共同企画として実施することになりました。実施に関する詳細事項と参加募集は9月度発行の会報40号でお知らせ致しますが、開催日時、意見交換会会場、施設見学会見学施設、自然観察会場所など、決定している事項をお知らせします。

1) 実施日：平成16年11月5日(金)～6日(土)

2) 日程

11月5日(金)10時～12時 施設見学会

見学施設：小田原東郵便局(環境配慮型モデ

ル郵便局)小田原市前川14-1

11月5日(金)13時～16時 意見交換会

場所：小田原市川東タウンセンター“マロニエ”(小田原市の施設)

11月5日(金)宿泊

足柄下郡真鶴町の民宿を予定

11月6日(土)10時～ 自然観察会

場所：真鶴半島

3) その他

施設見学会、意見交換会および自然観察会の個々の会への参加、および組み合わせでの参加を可能とします。

16年度環境カウンセラー 募集始まる

広報部 黒澤 宏

平成16年度の「環境カウンセラー募集」が始まりました。下記の事前説明会を行いますので希望者をご参加ください。

日時：8月19日(木)13:30～15:30

場所：ひらつか市民活動センター 2階会議室
(平塚駅南口から海岸方面へ徒歩1分の右側にある「JAビルかながわ」の2階)

講師：近藤 作司、黒澤 宏

上記事前説明会へ参加される方は、資料を用意する都合上、下記まで連絡をお願いします。

黒澤 宏(説明会実施者)

TEL & FAX：0463-88-5193

E-mail：fk5h-krs@asahi-net.or.jp

申込者が少ない場合は、事前説明会を中止する場合があります。独自にチャレンジされる方は下記から募集要項を入手しチャレンジ願います。

財団法人 日本環境協会

〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-9

プライム神谷町ビル2F

TEL.03-5114-1251 FAX.03-5114-1250

募集要綱を郵送希望の場合：

返信用封筒(角2・A4サイズが入る大きさ)に200円分の切手を貼り、送付先住所・氏名を明記し、日本環境協会までお送り下さい。

募集要綱をダウンロードする場合：

<http://www.env.go.jp/policy/counsel/files/yoko.pdf>

申請受付期間(募集期間)：

16年9月1日(水)～9月30日(木)

地域活動グループおよび環境学習の講師などの 実態調査アンケート結果

地域活動サポート部長 香川 興勝

記載形式の上記標題のアンケートに 32 名の方から回答をいただきました。ありがとうございました。

現在、地域活動サポート部で回答内容のとりまと

めを行っています。

会報 40 号にはアンケート結果の報告とともに、それに基づいた地域活動サポート部の活動計画を提案させていただく予定です。

役員退任の方々のメッセージ
(前号に掲載出来なかった方)

1 年を振り返って

前自然環境部会長 高田 重直

私事にて、急に九州の里に帰ることとなり、総会にも出席できず失礼を致しました。

自然環境部会長として、十分な仕事が出来ないまままで退任となりました。

例えば、昨年 10 月、相模湖畔の嵐山にて、“NPO

緑のダム・北相模”のお力添えを得て自然観察会を催し、木の役割、木の名前、炭酸同化作用、葉っぱの役目、葉のいろいろ、事典からの樹木名検索等、自然の観察方法を体験致しました。

既に再生可能な自然資源の消費量が自然の生物学的な生産能力を超えており、そのひずみが益々増大していることを考えると、“NPO 緑のダム・北相模”が実践している自然の修復、保護活動の重要性が理解できます。

新しい自然環境部会長のもとでの活動と神奈川県環境学習リーダー会の益々の発展を祈念致します。

部会活動

エネルギー部会

部会長 北村 博子

活動報告(5月~7月)

1. 部会

5月23日(日)14:00~17:00 県民センター

内容:第3回環境展ポスター内容打ち合わせ最終

6月13日(日)17:30~

内容:野外体験教室について確認

6月26日(日)16:00~18:00 県民センター

内容:野外環境体験・子ども環境体験教室内容検討

7月11日(日)14:00~17:00 県民センター

内容:子ども環境体験教室実施内容検討・確認

2. 第3回親子で楽しむ環境展

~地球の未来のために~

6月13日(日)8:30~17:10

県民サポートセンター1F

福田、藤木、下條、児玉、高橋、吉川、依田、
安藤、大森、小田、青野、北村

内容:パネル展示

我が家の省エネチャレンジ

暮らしのエネルギーチェック

暮らしのリフォーム:エネルギーを大切に

暮らしのリフォーム:自販機

暮らしのリフォーム:消費がCO₂を誘発

消費支出とCO₂排出量:’80年代後半

一人一人の温暖化対策

各国のCO₂排出量

家庭電化の省エネ対策

新エネルギー

活動状況紹介

小学校省エネ教育・学習紹介

体験・実験:

温暖化説明実験

面白電池いろいろ

電気の働き実験<動力・光・電子(音)>

電力量測定

カルタ取り:省エネ行動目標書き込み

活動予定(8月~10月)

1. 部会

8月15日(日)14:00~17:00

県民センター 708

9月26日(日)14:00~17:00

県民センター 603

10月24日(日)14:00~17:00

県民センター 707

2. 対外活動

8月22日(日)9:30~16:30

子ども環境体験教室「節電タップを作ろう」

場所：神奈川県環境科学センター

内容：

「地球温暖化」DVD視聴

電気の実験

燃料電池自動車試乗

電気の測定

節電タップ製作

エコカルタ取り：省エネカレンダー「省エネ

行動目標設定」・「省エネの環」作成

8月25日(水)10:00~15:00

夏休みフィールド体験教室「第12回親と子の楽しい省エネ教室」：KELE主催を支援

場所：舞岡公園

内容：

【地球温暖化】DVD視聴

太陽炉、太陽光発電、風力発電、燃料電池

古民家の自然の知恵を生かす暮らし体験

「取り組み宣言」

KELE 神奈川県環境学習リーダー・エネルギー会

ケナフ部会

部会長 荒谷 輝正

ケナフ部員が携さわった6月~7月までの活動及び8月~9月迄予定について報告します。

1. ケナフの栽培状況

まず、環境科学センター圃場でのケナフ栽培状況を報告します。

今年は、大変な高温と、日照りでケナフ栽培も、今迄に経験したことの無い程栽培に苦労しています。一連の状況を記しますと；

4/25 種まき。

5/23 芽が出ていない所に補植する。

6/10 第2回補植(柳川さんから苗を頂く)。

6/20 第3回補植。

7/3 雑草取り、及び水遣り。

7/10 雑草取り、及び水遣り。

7/19 雑草取り、及び水遣り。

7/26 俄か雨が降り、やっと成長の目処がつく。少し花が咲いているのを確認。

上記のような状況です。あらためてケナフが弱い植物であることを実感しています。

2. この期間活動報告(ケナフ栽培以外)

5/23 ケナフ部会定例会。ケナフ圃場の整備。

秦野市立南小学校栗原先生等が来センターされ、来年度採用する教科書にケナフについての項目が有る。ついては、学年全体(生徒170名、5クラス)で1年先取りして取組みたいのでケナフ部会に協力依頼が有り、打ち合わせを持った。ケナフ部会も出来るだけの協力をしていきます。

6/13 環境学習リーダー会主催「第3回親子で考える環境展」参加。

ケナフ部会の活動状況、ケナフ製品の展示、紙漉き体験等を実施し、大変好評でした。種の希

望者には郵送しました。

6/20 ケナフ部会定例会。

ケナフ圃場の整理、及び環境展の写真撮影、その他打ち合わせ。

6/27 ソレイユ相模原(相模原男女共同参画機構)主催のフェスティバルに相模原ケナフの会(荒谷主宰)で紙漉き等を実施。大変盛況でした。

7/10 環境科学センター主催「こども環境体験教室写真立を作ろう」の材用を環境科学センターに運搬。

7/26 ケナフ部会定例会及び、7/28 開催の環境科学センター主催「こども環境体験教室写真立を作ろう」の準備。

秦野市立南小学校の4年担当の先生5名来センター、ケナフの茎~紙漉き迄を実地、体験して頂く。(午前10時~午後3時迄)

7/28 環境科学センター主催「こども環境体験教室写真立を作ろう」開催。

3. 今後の予定

8/5 神奈川県青少年指導センター主催「環境ボランティア活動」紹介

8/6 環境科学センター主催「こども環境体験教室ケナフ染めに挑戦しよう」の準備及びリハーサル

8/25 環境科学センター主催「こども環境体験教室ケナフ染めに挑戦しよう」第1回目実施

8/28 環境科学センター主催「こども環境体験教室ケナフ染めに挑戦しよう」第2回目実施

なお、7/26に来センターされた秦野市立南小学校の栗原先生から10月に指導に来て欲しいとの依頼がケナフ部会に有りましたので快諾しました。

自然環境部会

部会長 岩田 寿郎

森の手入れ作業への募集結果の件

会報 38号にて募集いたしました、標記の企画は、6月末日で締め切りましたが、応募者極めて少数の

為、取りやめ、とさせて戴きます。ご了承下さい。
尚、前年から行われています、意見交換会と自然観察会を地域活動サポート部と共同で企画中です。是非、別掲の記事をご覧ください。

廃棄物・リサイクル部会

部会長 市川 勇
(代筆 石丸 博司)

市川部会長が体調を崩し報告が出来ないため、石丸が代行いたします。

7月例会(7月8日)の報告

出席者：市川 勇、黒澤 宏、市川 文子、石丸 博司
主な課題：

- 6月「親子で楽しむ環境展」の振り返り
主な出展として「ライフスタイルを見直そう」を中心に、合わせて一週間後伊勢原市に於ける「いせはら環境展」での出展も検討した。
実施日 1)「親子で楽しむ環境展」
16年6月13日(日) 県民センター
県民の来場者 16名
K・リーダー会メンバー 9名

2)「いせはら環境展」
16年6月19日・20日(日)

伊勢原中央公民館
環境展スタッフ 8名
マイ・エコクラブ 13名

コメント：集団の特徴として、
「K・リーダー会」及び「環境展スタッフ」はエコライフの実践者として「達人」の域に達している集団といえる。ただエコライフの実践者としての成熟度は「K・リーダー会」の方が高い集団(分布巾14)で「環境展スタッフ」の分布は広く(分布巾21)と成熟度が低いと言える。
「来場者」及び「マイ・エコクラブ」は「もしかしてかなりのエコライフ実践者」の域の集団と言える。両集団とも集団内の分布巾が広い(21と27)がこれからエコライフの充実に心がけたいと考えている集団と言える。

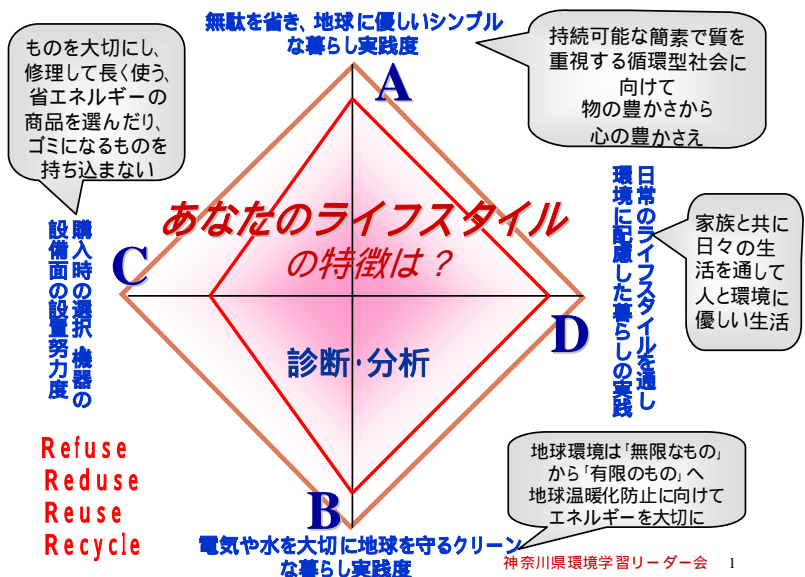
診断結果(平均) A 20点 B 30点 合計 50点

親子の環境展	来場者 分布		K・リーダー会 分布
	A 消費者として無駄を省き	12.0点 (16~9)	16.9点 (20~12)
B 電気や水を大切に	20.2点 (28~13)	24.0点 (27~20)	
合計	32.2点 (41~20)	40.9点 (47~33)	
伊勢原環境展	マイ・エコクラブ 分布		環境展スタッフ 分布
	A 消費者として無駄を省き	12.8点 (17~8)	15.6点 (19~9)
	B 電気や水を大切に	19.1点 (30~12)	21.3点 (26~15)
合計	31.9点 (47~20)	36.9点 (45~24)	

2. 今回のパソコンによる診断の特徴

会報 37号でも報告しましたようにライフスタイルを4つの特徴で浮き彫りにしようとする試みで、以下の4つの領域に分けその場で参加者に提案して行きます。

- 無駄を省き、地球に優しいシンプルな暮らしの実践
 - 電気や水を大切に地球を守るクリーンな暮らしの実践
 - 購入時の選択・機器の設備面の設置努力
 - 日常のライフスタイルを通し環境に配慮した暮らしの実践
- 上記のモデルを前提とした診断結果か



ら、これからのライフスタイルを充実するための課題や目標を分析してみると以下の様になります。

は平均値から

充実するための目標	A	B	C	D
来場者 16名	5人	2人	10人	1人
K・リーダー会 9名	2人	3人	3人	2人
マイ・エコクラブ 13名	7人	4人	4人	2人
伊勢原環境展スタッフ 8名	2人	5人	4人	3人

- ・数値の面で比較的高い「K-リーダー会」「環境展スタッフ」集団はエコライフ実践者としての成熟度が高い集団と見られる、また数値の面で比較的低い「来場者」及び「マイ・エコクラブ」は、これからのライフスタイルを充実するための課題を見てみると、平均値から見た傾向と個々人のこれから取り組もうといった課題や目標とは一致しないように思われます。いづれにしても今後どのようなことに注目し、どんなことに努力すべきかは、個々人の家族構成や家庭の事情から今後充実していく課題を選択していくことが求められているものと思はれます。
- ・今後のエコライフの充実に向けて取り組むための判断基準や進め方については別の機会に報告します。

尚 7月 26 日に別件でケナフ部会の早野さんの

要請で、秦野市南小学校 4 年生 5 クラス 121 人の診断結果の報告をしてきましたが、上記の記述はある程度当てはまると思われました。詳細の報告は次回会報で広報部から詳細の報告があると思いますので割愛します。

3. 部会の今後の課題

市川部長からの提案として「エコクッキング」の活動展開の話がありましたが、十分な論議が出来ませんでしたので次回以降の会合で論議することになりました。

次回会合予定

8月5日(木) 13:30~17:00

9月9日(木) 13:30~17:00

両日共 えびな市民活動サポートセンター

TEL 046-235-6835

大気環境部会

部会長 猪股 満智子

活動報告

賛助会員の入会がありました

1. 5月28日(金) 環境科学センター(9名参加)

部会ならびに学習会報告

- ・自然度調査に関する新方式の地図入力 of 模索と入力担い手の交代制を確認
- ・NO₂ 測定の他に自然度調べとアサガオを道具とした環境学習の普及・啓発
- ・学習会「化学物質と大気汚染」

講師：池貝隆宏氏(現在 KERC 企画部)

要旨

法制化と規制対策が進み、もはや NO_x、SO_x は古典的汚染源といってもよい。しかし、冬場においても光化学オキシダントの発生がみられ、炭化水素(HC)の抑制が課題となっている。大気中に排出される HC の約 3 割には塗料やガソリン等に含まれる揮発性化学物質(VOC)が占めている。

1 月、化学物質セミナーで VOC 簡易測定器

による分析を県民と試したが、高価であることと、作業環境用モニターであるため、一般環境レベルの濃度には適用しにくい。

PRTR(環境汚染物質排出移動登録)制度も動き出し、データをインターネットで誰もが調べ、気づける世の中になってきた。(独)産業技術総合研究所化学物質管理センターが開発したソフトウエア「AIST-ADMER」を活用し、化学分析を行うことなく大気中化学物質濃度をシミュレーションし推定、環境リスクを評価することができる。

2. 6月10(木)~11日(金) NO₂一斉測定、6月19日(土)分析

捕集管配布数: リーダー会関係(4 団体含む) 276、支援講座受講者 14、計 290 本

有効測定数: 264

部会員外からの測定協力をいただいたこと、また支援講座「環境調査コース」受講者の同日程サンプリングも加え、過去最高の配布数となったが、データとして採用できないものが相当あり、上記結果となった。調査日、データ記入方法等の徹底をしたい。12 月度にはさらなる測定協力をお願い

いたします。

3. 6月付けで昨12月度から測定参加の支援講座修了者で県地球温暖化防止推進員でもある横浜市磯子区在の佐藤裕一氏が部会の趣旨に賛同、賛助会員となられた。
4. 6月13日(日)「親子で楽しむ環境展」に出展参加
当日担当者 7名
5. 7月17日(土)KERC主催「子ども環境体験教室」
講師を担当
担当者：猪股、花上、鎌田、天谷、安丸
当日支援：安藤

活動予定

興味のある方、ご参加ください！

1. 9月27日(月)13:30~16:00 KERC 実験室
学習会「NO₂測定調査の評価・検討」
講師 KERC 研究員
今6月度測定データは台風の影響と終日の雨

といった部会発足以来稀な気象条件下で、総じて高めの数値であった。この機会をとらえ、常時監視局データとの比較、評価法等をセンター担当者に学びます。

学習会「新方式ソフト活用の地図入力講習会」

講師 KERC 職員

入手しやすい地図ソフトで、活用範囲も多方面。部会員以外の参加、大歓迎。ノートパソコンお手持ちの方はご持参ください。

事前申込み：猪股宛 TEL 0467-32-6858

部会も開催

2. 自然度調査「ツバメ」 調査時期7月末
ツバメを見た 巣を見た
データ送付：地域詳細地図に記入し、9月27日(月)必着で猪股か KERC 環境学習担当宛に FAX 0463-24-3300 か郵送

水環境部会

事業担当 古谷 敏夫

6月の活動状況

鮎沢川探水調査 6月20日(日)静岡県

- (1) 調査地点 大沢川・鮎沢川合流点から約80m上流・川幅約10m・流幅2~4m

小型水生動物では、カワゲラ目・カゲロウ目・トンボ目・トビゲラ目など多種採取できた。大型水生動物では、ヤマメ・アブラハヤも採取できたが、フロリダミズヨコエビ・コモチカワツボは採取できなかった。

近くに居住している方の話によると、昔は大沢川は家庭飲料水として利用していたが近年、家庭排水の増加により水質は低下しているとの話があった。

- (2) 調査地点 鮎沢川・小山福祉センター上流約100m・川幅約80m・流幅30~50m

小型水生動物では、トビゲラが多数確認できたが、他種については、あまり発見できず、フロリダミズヨコエビ・コモチカワツボも採取できなかった、又魚影も見られなかった。

第1四半期は、鮎沢川(山北町から静岡県小山町)の6地点において、フロリダミズヨコエビ・コモチカワツボの拡大分布状況を調査したが、いずれの調査地点においても採取できなかった。

第2四半期は、酒匂川支流及び四十八瀬川の底生動物調査を実施することとします。

【トピックス】

水環境部会スキルアップ講座開催

6月9日(水)AM10~PM4 神奈川県環境科学センター実習室において、野崎講師を中心に、会員有志7名が参加して「底生動物の分類・分析と水質調査手法」などをテーマに開催しました。

講座の主旨は、調査活動の中での疑問点や改善点を体系的に整理することにより、調査活動内容を、より充実・強化することを目標としました。

内容は、水生動物の同定法・水質分析実習で、現場での、PH・CODパックテスト実施にあたっての改善点が発見でき、今後調査精度を向上できると思っております。

来年度も、16年度で体験した問題点を整理して、勉強会を開催したいと計画しております。

本講座にあたり、ご指導いただいた野崎講師に参加者全員、お礼申し上げます。



= 豆知識のページ =

森林づくりに参加

かながわ森林づくり公社の催し

広報部 羽生田 洋啓

県民参加の森林づくりに関する活動を行っている「かながわ森林づくり公社」(以下、「公社」と書きます)の全般を本誌 2001 年 10・11 月号で紹介しました。今回は県民が参加出来る「公社」の催しを「公社」県民運動課の豊丸主任主事、井上副技幹にお聞きしました。(誌面スペースの都合で掲載できない催しがあることをご了承ください。)

「森林づくり体験講座」

この講座は森林を学び、自然とふれあい、環境について考え、森林づくり活動を体験するものであり、森林づくりの入門コースに位置づけられています。

下記 5 回の講座があり、望ましいのは全講座の受講ですが、バラバラに受講することも出来ます。

月/日/曜	講話	体験	場所
8/29/日	水源の森林づくり	下刈	秦野市
9/12/日	森林の活用 (森林空間と資源)	除伐	平塚市
9/25/土	森林は、どうなっているの(森林を観察)	枝打	松田町
10/9/土	森林を育てるボランティア(森林づくり事例)	間伐	松田町
3/19/土 3/20/日 (1泊 2日)	森林は、今... (神奈川の森林) 森林づくりとボランティア	枝打 間伐	清川村

申込み：開催日の 15 日前までに往復葉書で
参加負担金：1 日 500 円

「県民参加の森林づくり」

この催しは「公社」が推進している県民参加による森林づくりの一環であり、県民の参加者を募って行われる森林づくり実践コースです。

コースには、初めての人から熟練者まで参加出来るように、次の 3 つのタイプがあります。

- 1：初心者体験コース(初めて体験する人向き、活動は約 3 時間)
- 2：快汗実践コース(活動経験者・体力自慢の人向き、活動は約 3 時間)
- 3：大汗充実コース(経験者・技能自慢の人向き、活動は約 5 時間)

この催しは 6 月から行われていて、これから申込みめるものは下記 4 回です。連続して参加する必要はなく、どの回でも申込みが出来ます。

なお、この活動に参加した人が森林づくりを進めるグループを自主的に作り、活動を継続することを「公社」は期待しています。

月/日/曜	タイプ	作業内容	場所
10/24/日	3	除伐、間伐	秦野市
11/7/日	2	除伐	藤野町
12/5/日	2	枝打、除伐	秦野市
1/23/日	2	間伐	相模湖町

申込み：開催月の 2 ヶ月前の 1 日から電話で受け、募集人員に達した時点で締切り
参加負担金：1 日 500 円

「森林探訪(観察)会」

森林インストラクターが森林の解説をしながら森の中を案内してくれます。

これから申込みめるものは下記 2 回です。

月/日/曜	場所
9/26/日	「表丹沢県民の森」秦野市
1/29/土	「鎌倉天園」鎌倉市

申込み：開催日の 15 日前までに往復葉書で
参加負担金：無料

「親子森林体験教室」

親子で丹沢の深い森の中で、自然とふれあい、森林づくり、森の恵みで宝物づくりなどの体験をします。

日程： 9月 11・12 日(1泊2日)
12月 11・12 日(1泊2日)
2月 12・13 日(1泊2日)
3月 12・13 日(1泊2日)

内容：森林づくり体験(枝打・間伐等)、自然観察会、木工クラフト、炭焼き体験など
場所：県立札掛森の家(清川村)
申込み：開催日の 20 日前までに往復葉書で
参加負担金。無料(宿泊費・食材は各自負担)

「森林インストラクター」

「公社」は森林インストラクターの養成講座を実施していますが、今年・来年の講座申込みは既に締切られています。

なお、森林、自然に関するイベント、観察会などの講師の派遣要請に対して、森林インストラクターの派遣を行っています。

連絡先

(社)かながわ森林づくり公社 県民運動課
〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島 2489-2

神奈川県足柄上合同庁舎第二別館

TEL 0465-85-1900、FAX 0465-85-1905

URL http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin

会員の広場

会報の電子情報での提供とコミュニケーション

八木下 一壬（横浜市）

会報の電子情報での提供が始まりました。これは私が前年度からお願いしていましたことで、実現したことを大変嬉しく思っています。提案した理由はK・リーダー会の予算の中でかなり大きい割合を占める会報の印刷費と通信費を節約することと、廃棄物になる恐れがあるハードコピーを減らすことです。多くの会員が、会報を電子情報で受取り、会報に使われていた経費が、他の活動に有効に使用されることを期待しています。PDFの会報を見ましたが、紙情報より鮮明で見やすく感じました。また私の書架のスペースを減らすことも期待できます。

会報No.38に会報の電子情報での提供と受取り方法が載っており、その中に「メーリングリストの「ホームページ」・・・」という記述があります。確かに広義のホームページですが、一方向にのみ情報を発信するホームページとは機能が違ってきます。Yahoo!グループは、インターネットを使ったグループコミュニケーションサイトで、電子メールとサイトを組み合わせたグループウェアの統合ツールを

利用するサービスを行っています。メーリングリストは、コミュニケーションツールの一つであり、他にチャット、ブリーフケース、フォトアルバム、ブックマーク、データベース、投票、カレンダーなどのウェブ機能があります。市民活動で情報を共有化する方法にはいろいろありますが、グループコミュニケーションサイトのウェブ機能を効果的に活用することにより、多くの情報交換を迅速に行うことができ、活動も活発になるのではないのでしょうか。

K・リーダー会は、会員が神奈川県全域に居住していて、また活動が一部会員に限られていると思います。6月末現在、k-leaderグループのメンバーは会員170名中86名で、その中でID・パスワードの登録者は21名です。より多くの会員が、グループのメンバーになり、ID・パスワードの登録を行い、ウェブ機能を活用したコミュニケーションが活発に行われ、さらに活動に参加する人が増えることを期待したいと思います。

国立環境研究所 公開シンポジウム 2004 国立環境研究所の30年 天・地・人と向き合っ てに参加して

鈴木 顯（茅ヶ崎市）

初夏の6月23日、東京芝公園のメルパルホールにて上記シンポジウムが開催されました。

副題にもある通り、1974年、環境庁傘下の「国立公害研究所」として発足、その後、環境省になると同時に「独立行政法人国立環境研究所」への改組を経て今年で丁度30年の節目の年。

同研究所は、その間、環境問題の変遷にあわせ、国内のみならず国際的にも数多くの業績を生み出し、正に世界の環境研究リーダーとしての役割を果たして来ました。

今回はそうした30年の歩みを振り返り、その中でこれからの環境研究の方向を明らかにし、数多くの研究の中から、今日的、将来的に重要な6分野での講演とそれを補う20部門のポスターセッションが展示・提言されました。

当リーダー会からも数多くの方が参加されましたが、会場全体では1,000人弱の方々が参加され、ポスターセッションでも研究者とも直接話しが

出来て、熱気に包まれた7時間でした。

講演項目を紹介すると

- 【基調講演】「環境研究 - これから何が問題か - 」
- 【講演1】「湖・沼・地の環境研究30年
- アオコから生物多様性・自然への再生へ - 」
- 【講演2】「飛行機を使って中国の大気汚染を探る
- 酸性雨。地球温暖化とのかかわり - 」
- 【講演3】「ごみ処理研究の30年
- ごみ処理から循環型社会へ - 」
- 【講演4】「化学物質による突然変異
- 魚を用いた新しいバイオアッセイ法開発 - 」
- 【講演5】「地球温暖化研究の最前線
- わかっていること、いないこと - 」
- 【講演6】「黄砂 - 時の流れと砂の流れと - 」

であり、当研究所が理学・工学・農学・医学・薬学・水産学から経済学に至るあらゆる分野からの研究者が総合的に取り組んできた環境問題の中から、30年

の蓄積の上に立ち、21世紀を展望してもなお継続して重要な課題が選別され報告されました。

ここで全講演内容を詳しく報告するには紙数もなく、また興味、関心もリーダー各位毎に異なると思われるので、具体的内容については幸い下記の当研究所のホームページに、当日の配布資料に加え発表用のパワーポイント資料も詳しく報告されているのでそちらを参照下さい。

(<http://www.nies.go.jp/index-j.html>)

(Menu欄「公開シンポジウム・セミナー行事案内」)

私は、数年前、環境ホルモンをテーマとした市民活動をキッカケに環境問題に入り込んだだけの浅学の身であり、多くのリーダーの方々のように専門的な勉強をしてきた訳ではないので、養成講座終了後、引き続き環境問題全体に目を配り、問題意識を正しく持ち続ける良い方法を模索していました。

そんな折、偶然遭遇したのが、丁度、環境省の部門から独立法人に変わり、新組織としての「新しいあり方」を懸命に模索していた合志理事長率いる当研究所の存在でした。

国立といった重要機関でありながら硬さを全く感じさせない、世界的権威者でありながら尊大な研究者のイメージからは程遠い、そして着眼大局、着手小局と重要な環境問題はしっかり捉えながら、その立脚点は、今年のシンポジウムの副題にも表されているように“人”。それも世界にまで視野を拡げた・・・“環境哲学”ともいえる理念と、素人でも暖かく包み込んでくれる雰囲気惹かれ、私のシンポジウム参加も3回目となりましたが、今年のそれもポスターセッションでの研究者とのディスカスを含め有意義なものでした。

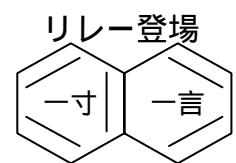
公害問題に始まり、地球温暖化、有害化学物質廃棄物問題など環境を脅かす問題への地域、世紀、世代をこえた対処だけでなく、「市民の活力を維持し高めるため、豊かな自然と快適で便利な生活をいかに両立させていくか」という課題」に挑戦しようとしている当研究所の動向は、水準の高さといい、立ち向かう方向性といい、それを公開シンポジウムだけでなく、各種環境情報、例えば年4回発刊の「環境儀」（図書館などにも置かれていますし、友の会会員になると送って貰えます。などでの積極的な情報発信や情報開示とともに今後も目が離せない思いです。

皆さんも一度内容豊富な国立環境研究所のホームページの世界を訪問してご覧になりませんか。



始めの一步

～出来る事から始めませんか～



菊地 清明 (横浜市)

会員の皆さんは環境問題には強い関心をお持ちの事と思います。そして何か環境に役立つ活動をしたいと考えておられることと思います。しかしいざ実行しようと思うと、時間が無かったり、億劫になるのも自然な事です。でもここは肩の力を抜いて、出来ることから始めるのが良さそうです。人によっては出来ることと出来ないことがあるのですから。

ここでは私が実行している一人でもできる事をご紹介します。

レジ袋を貰わない：ここでは粗っぽい計算をします。買い物袋は毎日通勤鞆に入れており、スーパーでは一回2円相当のエコスタンプを貰います。そこで、全家庭が毎日実行すると、 $2円 \times 2,500万世帯 \times 365 / 年$

= 182.5 億円 / 年

米の研ぎ汁は庭に撒き、落ち葉は土から得たものは土に返すで焼却に回さない：お陰で土の中には丸々と太ったミミズが生息して居ます。

古紙は焼却に出さず古紙回収にまわす：サーマルリサイクルがいいのか、マテリアルリサイクルがいいのかは判別が難しいところです。水道の栓をハンドル式からレバー式に変えて食器洗いの際に、こまめに栓を開け閉めし節水に努める：その効果は不明。

将来は IT システムを活用し、「これだけは実行しよう」全国的なデータベースを立ち上げられたらと考えています。

未だ見ぬ子孫へ何を残すか考えながら！

ここまで読まれた方で何か聞いたことがあるなと感じた方は多いと思います。

そうです。神奈川県を始めとする関係団体で進めている「新アジェンダ21 かながわ」の「マイアジェンダ登録制度」と軌を一にするものなのです。

こんな事を考えているときに朝日新聞(2004.6.8)に「IBM『エコ社員』を表彰」と題して日本IBMのエコ活動の記事が掲載されました。抜粋は以下の通りです。

・・・「環境保護のために自分ができる事」を社内で宣言し、実行度を競う活動を今月から始めた。「電気をこまめに消す」「買い物袋を持参する」など身近な課題を公約とし、達成度をポイント換算して高得点の社員と家族を表彰するという・・・

さて、このリレーも今回が「始めの一步」。今後は多くの方の経験を踏まえた味のある文章を楽しみにしています。

今回は相模原市の福田昭三さん(4期)、平塚市の斉藤絵美さん(11期)の登場です。お楽しみに。

「リレー登場」について

広報部 黒澤 宏

これまで、会員の活動を「会員の広場」のコーナーでご紹介していましたが、今39号より、リレー登場「一寸・一言」を同コーナー内に掲載します。

第1回執筆者には発案者の菊地清明さんをお願いし、今回は、菊地さんが指名した2名の方にリレーして執筆して頂きます。この2名の方は原稿の最後でその次の回に記事を書いて頂きたい方を指名(各1名)するという方式で、2系列のリレーが走ることに成ります。

内容は、「リレー登場」と銘打っていますが、難しい物でなくて、

・環境について(だけで無く)普段考えていること

・現在行っている活動の

内容、

苦労していること、

うまくいった話、

会員に紹介しておきたい動向、

仲間の募集等も可

・これから立ち上げようとしている事等、なんでも結構です。指名を受けたら快く引き受けて会報に登場してください。色々な地域で活動されている方にスポットが当たり、それが会員相互の活動の範囲が広がるきっかけになればと期待しております。

なお、無論その他に会員の皆様からの投稿を心よりお待ちしております。

掲示板

かながわ環境月間関連イベントのお知らせ
地域活動サポート部長 香川 興勝

今年も、神奈川県下で環境月間関連イベントが5月26日～7月11日の間実施されました。

各地で行われた環境関連イベントについて、下記事項の一覧表が、かながわアジェンダ推進センター(KCCCA)のホームページの“お知らせ2004年6月4日版” 連携イベント・行事一覧 に記載されています(KCCCAで検索、URL:下記)。

<http://www.kccca.jp/osirase.htm>

イベント名、開催日時、場所、内容、
問い合わせ先、主催者

私達の活動に参考になると思われる活動事例が、近隣の市町村で行われている様子を知ることができます。興味ある内容の詳細については主催者に問い合わせただけだと思います。

編集後記

7月1日～5日まで平塚七夕が開催されました。今年是好天に恵まれ初日から多くの人が出て、5日間で307万人の人が訪れました。ごみも相当量出ました。ごみステーションは数多く配置されていますが、路肩で食べて置きっぱなし、街路樹の根っこにポイ、平らなものがあるとその上に置くなど不法投棄状態、放って置くとたちまち山になります。今年も70名の高校生ボランティアと共に、会場クリーン作戦を展開しました。

効果はほとんどありませんが今年も「七夕の思い出とごみの持ち帰りキャンペーン」を実施、ゴミ袋を配布しました。

ところで、HPのURL、代表のメールアドレス変更があり、封筒に張物が!! 廃棄はもったいないので、しばらく我慢をお願いします。

広報部 原園 信夫

発行人：神奈川県環境学習リーダー会

代表 近藤 作司

編集人： 広報部長 黒澤 宏

TEL/FAX 0463-88-5193

発行日： 2004年7月31日